

## 児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

### 1 基本情報

- ◇各教科等 国語科
- ◇学部・学年 高等部第1学年1組
- ◇単元名 「文章を書こう」
- ◇単元の目標
  - ・いろいろな語句、文及び文章を正しく読み、内容を読み取ることができる。
  - ・手紙や日記などを目的に応じて正しく書くことができる。
- ◇付けたい力
  - ・出来事の振り返りを、自分の思いを交えて書くことができる力。
- ◇本時の目標
  - ・出来事の振り返りを、自分の思いを交えて書くことができる。
- ◇生徒の実態
  - ・感想文や日誌では、出来事のみを書く傾向にあり、自分の思いや感想を述べることが少ない。
  - ・概ね自分の思いを交えて書くことができているが、自分の思いが入るときと入らないときの差が大きい。

### 2 期待する児童生徒の姿

感想文や日誌を、時系列に沿って自分の思いを交えて書くことができる。

### 3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

- ・自分の思いを交え、次はどうしたらよいか等、次回へ向けての思いも含めて書いている生徒、自分の思いを交え、わからない漢字を自分で調べて書いている生徒が見られた。
- ・気持ちを表す言葉をいくつか例を挙げ、板書することで、単に出来事のみを記述するのではなく、その時々はどう思ったか、次はどうしたらよいか等の思いを交えて書く生徒が見られた。今後は、実際の場面において、その時々を思いを引き出すような問いかけをしてその場で思いをpushしておく。
- ・自分の思いを書き表すこと、次はどうしたらよいか、考えることは、卒業後の生活において大切な要素の一つである。困ったことや悩みを周りの人に伝えることで、状況が改善し、生活しやすく、働きやすくなることに繋がる。